



メンテナンスとアップグレード

- [電源ボタンのシャットダウン](#) (1 ページ)
- [ドライブの取り外しと交換](#) (2 ページ)
- [電源装置の取り外しと交換](#) (5 ページ)

電源ボタンのシャットダウン

Threat Grid M5 は、次の 2 つのモードで動作します。

- **主電源モード**：すべての Threat Grid M5 コンポーネントに電力が供給されて、すべてのオペレーティングシステムが動作できるようになります。
- **スタンバイ電源モード**：電力はサービスプロセッサと特定のコンポーネントにのみ供給されます。このモードでは、Threat Grid M5 から電源コードを安全に取り外すことができます。



注意 Threat Grid M5 をシャットダウンしてスタンバイ電源にした後も、シャーシ内には電流が残っています。いくつかのメンテナンス手順で指示されている電源切断を実行するには、Threat Grid M5 のすべての電源装置からすべての電源コードを外す必要があります。

前面パネルの電源ボタンを使用して Threat Grid M5 をシャットダウンするか、OpAdmin を使用して再起動またはシャットダウンを開始できます。

ステップ 1 電源 LED を確認します。

- **オレンジ**：Threat Grid M5 はスタンバイモードであり、安全に電源を切断することができます。
- **緑**：Threat Grid M5 は主電源モードであり、安全に電源を切断するにはシャットダウンする必要があります。

ステップ 2 グレースフルシャットダウンまたはハードシャットダウンを実行します。

注意 データ損失やオペレーティングシステムへの損傷を防ぐには、オペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを実行します。

- グレースフルシャットダウン：電源ボタンを押して放します。オペレーティングシステムがグレースフルシャットダウンを実行し、**Threat Grid M5** がスタンバイモードになります。電源 LED がオレンジに点灯します。
- 緊急シャットダウン：電源ボタンを 4 秒間押し続けると、主電源が強制的にオフになり、すぐにスタンバイモードになります。

ステップ 3 メンテナンス手順で **Threat Grid M5** の電源を完全に切断するよう指示されている場合は、電源装置からすべての電源コードを外します。

ドライブの取り外しと交換



(注) ドライブはホットスワップ可能です。ドライブを取り外したり交換したりするために、**Threat Grid M5** をシャットダウンする必要はありません。



(注) シャーシにドライブを追加することはできません。**Threat Grid M5** に同梱されているスロットのドライブのみを交換できます。

始める前に

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント **1018**：電気回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。



警告 ステートメント **1019**：主要な切断装置

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

**警告** ステートメント 1024 : アース導体

この装置は、アースさせる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

**警告** ステートメント 1030 : 機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**警告** ステートメント 1073 : ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

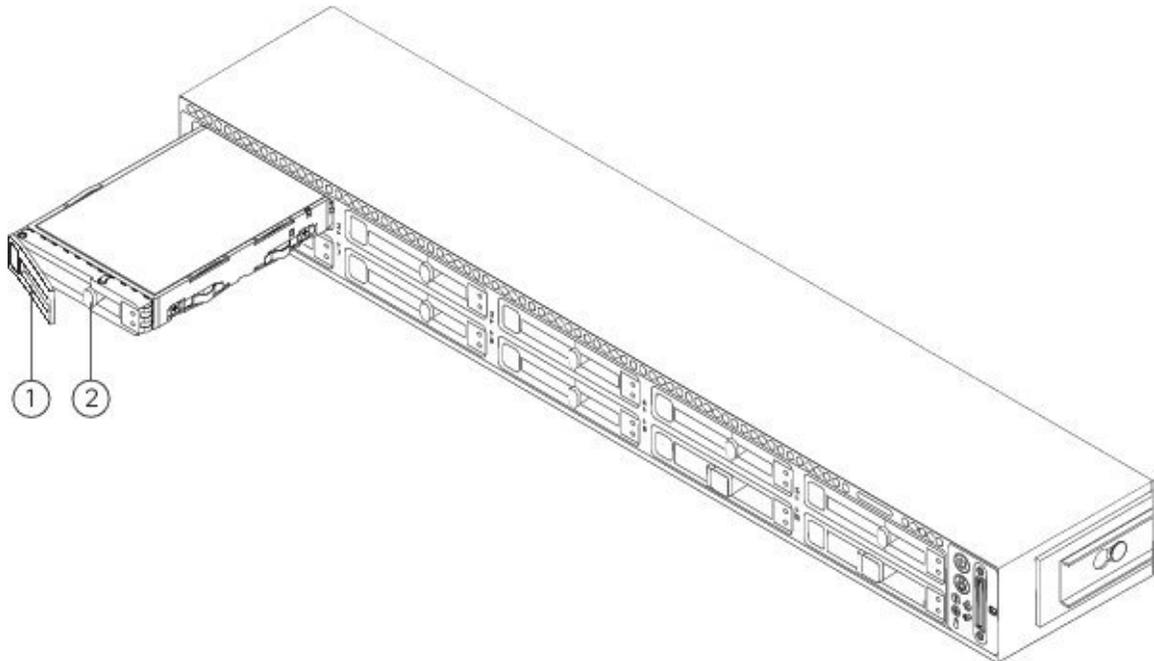
**警告** ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステップ 1 交換するドライブを取り外します。

- a) ドライブトレイの表面にある解除ボタンを押します。
- b) イジェクトレバーをつかんで開き、ドライブトレイをスロットから引き出します。

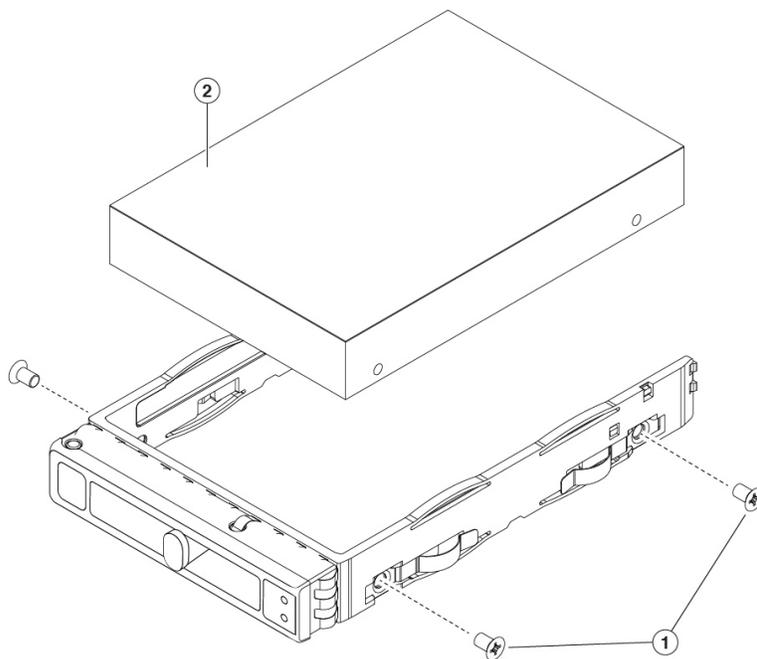
図 1: ドライブの取り外し



1 イジェクトハンドル	2 解除ボタン
-------------	---------

ステップ 2 ドライブをトレイに固定している 4 本のドライブトレイネジを外してから、ドライブをトレイから持ち上げます。

図 2: ドライブトレイの取り外し



1	ドライブトレイネジ（各側面に2個ずつ）	2	ドライブトレイから取り外したドライブ
----------	---------------------	----------	--------------------

ステップ3 次のようにして、新しいドライブを取り付けます。

- a) 空のドライブトレイに新しいドライブを置き、4本のドライブトレイネジを取り付けます。
- b) ドライブトレイのイジェクトレバーを開いた状態で、ドライブトレイを空のドライブベイに差し込みます。
- c) バックプレーンに触れるまでトレイをスロット内に押し込み、イジェクトレバーを閉じてドライブを所定の位置に固定します。

電源装置の取り外しと交換

Threat Grid M5には、冗長でホットスワップ可能な2つの電源装置が付属しています。1つはアクティブな電源装置で、もう1つはスタンバイ電源装置（1+1）です。

Threat Grid M5は、コールド冗長性もサポートしています。Threat Grid M5で使用される電力に応じて、1台の電源装置でシステムにすべての電力をアクティブに供給し、もう1台の電源装置がスタンバイ状態になる場合があります。たとえば、電源装置1で消費電力が満たされる場合は、電源装置2がスタンバイ状態になります。



注意

電源装置を交換するときは、種類の異なる電源装置をThreat Grid M5内に混在させないでください。両方の電源装置のワット数とシスコPIDが同じである必要があります。



Trouble

電源装置の電源が切断されるか誤動作が検出されて冗長性が失われると、電源装置のヘルスマニタリングによって通知されます。電源ケーブルを調べて、動作していることを確認してください。電源ケーブルが動作しているのにエラーが続く場合は、電源装置を交換します。

始める前に

次の警告を記録しておいてください。



警告

ステートメント 1018：電気回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

**警告** ステートメント 1019 : 主要な切断装置

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

**警告** ステートメント 1024 : アース導体

この装置は、アースさせる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

**警告** ステートメント 1030 : 機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**警告** ステートメント 1073 : ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

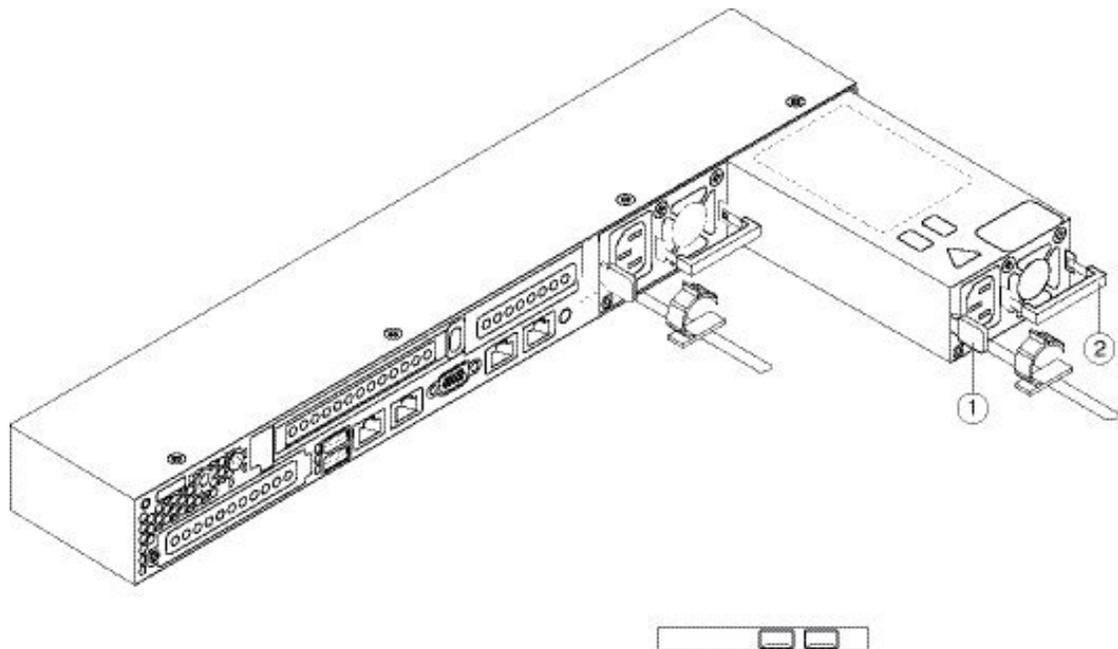
**警告** ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステップ 1 電源装置の取り外し

- a) 電源装置のハンドルをつかみながら、リリースレバーをハンドルに向けてひねります。
- b) 電源装置をベイから引き出します。

図 3: AC 電源装置の取り外しと交換



1	リリース レバー	2	ハンドル
---	----------	---	------

ステップ 2 次のようにして、新しい電源装置を取り付けます。

- a) 電源装置のハンドルをつかみ、空のベイに新しい電源装置を挿入します。
- b) リリース レバーがロックされるまで、電源装置をベイに押し込みます。
- c) 電源コードを新しい電源装置に接続します。
- d) Threat Grid M5 をシャットダウンした場合は、電源ボタンを押して主電源モードに戻します。

